



和牛・乳牛 98 頭が出場

小林市総合畜産共進会

4月12日、第14回小林市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。和牛3部門に80頭、乳牛4部門に18頭が
出場。和牛は脇屋敷まさ子さん、乳牛は高佐政昭さんがグランド
チャンピオンを獲得しました。

【以下結果・順位順（敬称略）】

■和牛の部▽雌子牛 = 前谷光則、山田真司、八重尾あさ

子、今村鉄男、八重尾光夫

▽育成1類 = 脇屋敷まさ子、立山健二、下村美輝

▽育成2類 = 中別府完爾、下村美輝、谷之木秀幸

■乳牛の部▽乳牛1類 = 轟木和広、熊ノ迫哲也、高佐政昭

▽乳牛2類 = 谷口俊文、中村大輝

▽乳牛3類 = 谷口俊文

▽乳牛4類 = 高佐政昭、鷗野裕二、谷口俊文



Photo 1 和牛のグランドチャンピオン脇屋敷さんとももご号。

2 乳牛の各部門で優等1席を獲得した受賞者と関係者ら。

牛団体▽和牛の部 = 野尻町畜産振興会 ■枝肉共励会▽肉牛の部（48頭出品） = 株石川畜産 ■環境衛生共励会▽養鶏の部 = 瀬戸山智史▽養豚の部 = 行徳喜一 ■乳質改善共励会▽乳牛の部 = 黒木英教 ■功労者表彰 = 上谷郁夫、中山一信、東キサ子、永野宗市、栗屋弘

災害時の迅速な対応が可能にし尿等の収集運搬に関する協定締結

3月22日、市は県環境保全事業連合会と災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定を締結しました。災害が発生するなどした場合に、相互に協力してし尿などの収集運搬を迅速に行えるようにすることが目的。締結式で同会の岩本晋時会長は「災害時は助け合いの精神で、迅速な収集運搬に努めたい」と話していました。

し尿等の収集運搬に関する協定締結式



同協定の締結で、災害時のし尿などの収集運搬に必要な車両の提供や人員の確保、仮設トイレの設置などが迅速に対応できるようになります



同コンテストはフマキラー(株)が主催し、今回で15回目の開催。井手口さんは絵画部門で、海野さんは作文部門でそれぞれ受賞しました

全国1万点以上の応募の中から大賞に次ぐフマキッズ賞を受賞

3月22日、南小2年の井手口妃由さんと野尻小4年の海野蒼裕さんが「虫や植物とふれあうコンテスト」で、受賞したことを市長に報告しました。井手口さんは、虹色のダンゴムシを自由な表現力と発想力で描いたこと、海野さんはタマムシとの出会いを通しての行動と、その考え方をつづったことが評価され受賞しました。

都道府県対抗ジュニアバスケットに出場

3月25日、小林中2年の石川慎之助さんが、都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に選抜メンバーとして出場することを市長に報告しました。石川さんは、「今まで練習した自分の力を十分発揮できるようがんばります」と話していました。



西諸一体で医療・介護の連携推進

3月25日、第7回西諸地域在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。昨年度の活動実績報告や今年度の事業計画を協議。医療と介護の連携推進を、西諸地域がひとつになって進めていくことを確認しました。



励まし合いながら学業に取り組みたい

4月10日、西諸医師会立小林准看護学校の入学式が行われ、9人の新入学生が看護の道への志を立てました。新入学生を代表して長野舞さんは「学校規則を守り、仲間とともに励まし合いながら学業や実習に取り組みます」と宣誓しました。



1年を待たずに来店者数1万人達成

4月13日、駅南にある「Kokoya de kobayashi」が、オープン1年を前に来店者1万人を達成しました。来店者の岩本さん夫婦（宮崎市）は、「とてもいい記念になりました。ディナーのときは宿泊も検討します」と話していました。



宣誓する東原さん。今年度は502人が消防団に在籍し、地域の消防防災のリーダーとして市民の安心と安全を守るという重要な役割を担います

市民の生命と財産を守る 小林市消防団入退団式を開催

4月6日、平成31年度小林市消防団入退団式が須木総合ふさとセンターで開催されました。45人が退団し、新たに20人が入団。入団者を代表して第10分団第5部（野尻地区）東原治希さんは「住民の生命、身体、財産を保護し、郷土愛護の精神に基づき使命達成に努めます」と宣誓しました。



同校は、西諸地域の看護師不足解消のため平成27年に開校。今年も24人が西諸地域の医療機関へ就職しました

小林看護医療専門学校が連続で 国家試験合格率100%達成

3月に卒業した小林看護医療専門学校2期生（看護学科34人）が、看護師国家試験で合格率100%を達成しました。全員合格は、前年度に引き続きの快挙です。今年度は5期生（43人）が入学して新たにスタート。今後も、地域医療を担う人材になれるよう、在校生や教職員一丸となって全員合格を目指します。

災害時に必要不可欠な畳 協定締結で被災地への供給可能に

3月22日、市は県畳工業組合小林支部と災害時における畳の供給に関する協定を締結しました。災害が発生するなどしたときに、畳を被災地へ供給できるようにすることが目的。締結式で同支部の小園和明支部長は「災害時に私たちができることを模索して締結した。今後の仕事も身が引き締まる思いです」と話していました。



避難所へ畳が供給されることで、被災者の負担軽減や避難所機能の強化など災害時の支援体制の充実が図られます

安全で安心なまちを目指し紙屋小 校区社協をモデル地区に指定

4月5日、紙屋小校区社協（杉田藤子会長）が地域の安全・安心活動推進モデル地区に指定されました。県防犯協会連合会などがモデル地区を指定し、事件や事故のない「安全で安心なまち」を推進することが目的。同会の杉田会長は「紙屋小校区は小さいながらもまとまりがいい。安全安心のまちづくりに貢献したい」と話していました。



指定期間は4月1日から2年間。地域住民やボランティア団体などが活動することで、他の地域への波及効果が期待されます

円滑な収集運搬に し尿等の収集運搬に



同会と市が協定を締結するのは県内で6番目。今後の市の防災・減災向上と、災害時の公衆衛生の確保に努めます

災害時の円滑な対応が可能に 廃棄物の処理に関する協定締結

3月22日、市は県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理等に関する協定を締結しました。災害が発生するなどした場合に、相互に協力して産業廃棄物の収集運搬を円滑に行えるようにすることが目的。締結式で同会の田村努会長は「専門知識を活用して、迅速に最大限に取り組みたい」と話していました。



左から古川さん、緒方さん。式では、第32代コスモスレディ森永恵里さん、村川舞衣子さんから古川さん、緒方さんへとタスキが引き継がれました

古川智美さん、緒方綾香さんが 第33代コスモスレディに着任

3月30日、コスモスレディの退任式と選任式がまきばの桜まつりのイベント会場で行われました。第33代コスモスレディとして古川智美さんと緒方綾香さんが着任。古川さんは「小林の素敵な場所や魅力を多くの人に伝えていきたい」、緒方さんは「大好きな小林を積極的にPRしていきます」と意気込みを話しました。